

1-3 糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおける保健指導による 特定健診データの改善に関する評価

長瀬有紀（長野県北信保健福祉事務所）、小林良清（長野市保健所）

キーワード：糖尿病性腎症重症化予防プログラム、特定健診、保健指導の評価

要旨：中野市、山之内町において糖尿病性腎症重症化予防事業のため、特定健診において血糖コントロール不良の者（HbA1c 6.5 以上）に対して保健指導を行った。平成 29 年度における保健指導実施数は中野市 18 人、山ノ内町 22 人であった。中野市の保健指導有群では指導無群と比較して、特定健診における改善が示唆された項目（体重）が認められた。

A. 目的

国保保険者による特定健診等結果状況報告書では、HbA1c 5.6 以上の者の状況をみると中野市において 82.1%と市町村平均 66.1%を上回り、県内の順位においても 1 位となっている。県内において、医療機関と連携して保健指導を行うことによる重症化予防の取組が進む中で、その結果をどう評価するかが課題となっている。そこで、市町村が容易に入手できる特定健診のデータを活用し、ハイリスク者を対象に保健指導実施前後で HbA1c などがどのように変化したかを分析・評価することとした。こうした背景をうけて平成 29 年度に中野市及び山之内町では糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施し、その効果を評価することとした。

B. 方法

1. 中野市・山ノ内町の糖尿病性腎症重症化予防の概要

(1) 地域医師会、病院との連携

実施にあたっては、長野県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに準じて行うこととし、地域の医師会（中高医師会）及び北信総合病院、に連携・協力を依頼した。

(2) 対象者の選定

NDB のレセプトデータと特定健診のデータを突合し対象者を選定した。保健指導の対象者としては、中野市においては特定健診で HbA1c 6.5 以上かつ尿蛋白 ± 以上または eGFR 60 未満のもの及び HbA1c 8.0 以上のものとし、山之内町では特定健診で HbA1c 6.5 以上のものを選定した。

保険者が対象となったものに通知等を渡し、対

象者が連絡票（紹介用）をかかりつけ医に持参する。連絡を受けたかかりつけ医がプログラムの対象者として適当であると判定した者に対して保健指導を実施した。

(3) 保健指導

保健師・管理栄養士・歯科衛生士が連携して、保健指導を行った。指導の内容は、(1) 糖尿病及び糖尿病性腎症の病態の説明 (2) 服薬管理 (3) 医師の指示に基づいた生活・食事指導 (4) 病気に応じた具体的な療養行動の相談 (5) 精神的支援について行った。指導した事項については、糖尿病連携手帳等を用い、かかりつけ医と情報共有した。

2. 分析・評価の方法

(1) 対象者

保健指導の対象となった者（中野市 58 人、山ノ内町 72 人）のうち平成 29 年度と平成 30 年度のいずれも特定健診を受診しており、両年における体重、HbA1c、CKD 重症度の値がそろっている者で、保健指導を受けた者（指導有群）（中野市 16 人、山ノ内町 16 人）と保健指導を受けなかった者（非指導群）（中野市 37 人、山ノ内町 31 人）に分け、分析を行った。

(2) 分析項目

2 年間の体重、HbA1c の変化量、CKD 重症度分類の区分の変化について、指導有群と指導無群で比較した。

C. 結果

i) HbA1c

中野市の対象者での HbA1c 値変化の平均値 ± 標本標準偏差（以下、同じ）は指導無群で -0.06

% ± 0.65%、指導有群で-0.56% ± 0.98%であり Welch の t 検定における p 値は 0.09 と優位な差は認められなかった。

山之内町の対象者では、HbA1c 値変化の平均値は指導無群で-0.04% ± 0.63%、指導有群で-0.03% ± 0.72%であり Student の t 検定における p 値は 0.98 と優位な差は認められなかった。

ii) 体重

中野市の対象者での体重変化の平均値は指導無群で-0.16kg ± 1.62 kg、指導有群で-1.76 kg ± 1.96 kg であり Student の t 検定における p 値は 0.0015 と優位な差が認められた。

山之内町の対象者では、体重変化の平均値は指導無群で-0.26 kg ± 1.88 kg、指導有群で-0.91 kg ± 3.06 kg であり Welch の t 検定における p 値は 0.45 と優位な差は認められなかった。

iii) CKD 重症度

CKD の重症度においては、指導有群と無群の比較において、改善・変化なしと悪化の割合において優位な差は認められなかった。

(中野市)

	改善・変化なし	悪化	合計
指導無	32	5	37
指導有	14	2	16
合計	46	7	53

オッズ比 0.91 (0.16 ~ 5.29)

(山之内町)

	改善・変化なし	悪化	合計
指導無	26	5	31
指導有	15	1	16
合計	41	6	47

オッズ比 0.91 (0.16 ~ 5.29)

D. 考察

平成 29 年度において選定された対象者に対する保健指導実施率は中野市 31.0% (18/58)、山之内町 30.6% (22/72) であった。今後は、更に保

健指導の実施率を高めるための対策が必要と考えられる。また、保健指導前後の体重では、中野市の指導有群において指導無群に対して有意差が認められたものの、HbA1c の変化の検討では中野市、山ノ内町のどちらも優位な差は認められなかった。有意差が見られた項目、見られなかった項目があるが、その理由として対象者の性・年齢構成が指導有群と指導無群で調整されていないこと、保健指導の内容や期間が指導有群の中でも統一されていないこと、検査値が保健指導以外の要因によっても影響を受けていることなどが考えられる。今後は更に保健指導実施者数を増やしての検討を継続する必要があると考えられる。

また、CKD については、分類で評価しているので、今後は尿たんぱく（または微量アルブミン）や eGFR などの数値データを用いた分析を行う必要がある。

E. まとめ

長野県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに準じた保健指導を行うことで、特定健診における改善が示唆された項目（体重）が認められた。

F. 利益相反

利益相反なし。

G. 文献

長野県糖尿病性腎症重症化予防プログラム

<https://www.pref.nagano.lg.jp/sakuho/kannai/dm/documents/kenprogram.pdf>

(謝辞)

保健指導等のデータを提供していただいた中野市、山ノ内町様に感謝をいたします。